随時募集！

公益財団法人とちぎ建設技術センター職員採用試験案内

【問い合わせ先】　〒321-0974　　栃木県宇都宮市竹林町1030-2
公益財団法人とちぎ建設技術センター　総務部　総務課　採用試験担当
TEL　　028-626-3186　　（代表）



下水道マスコットキャラクター　スイミーちゃん

以下の受付期間において随時採用試験及び希望者に対して業務説明会を実施します。

◎受付期間　　令和８(2026)年11月２日（月）～令和９(2027)年１月29日（金）

１　採用職種、採用予定人数、職務内容等

職　種	職　務　内　容	勤　務　地
総合技術職 採用予定人数※ 若干名	当センターの本部又は出先機関に勤務し、企画、建設、建築、下水道等に関する専門的な業務に従事します。配属にあたっては、いずれかの部門に配属されます。 【企画部門】 ・市町の技術支援、研修、電算改定、品質試験業務等。 【建設部門】 ・公共建設工事に関する積算、施工管理の業務等。 【建築部門・下水道部門】 ・栃木県、市町の公共建築工事の積算、工事監理業務等及び下水道施設の修繕工事の積算・現場管理業務等。 【業務の変更の範囲】 当センターが実施する事業の範囲で業務が変更となる場合があります。	・本部（宇都宮市） ・試験研究センター（宇都宮市※本部と同じ敷地内） ・出張所（栃木市、矢板市） ・下水道資源化工場（宇都宮市） ・浄化センター（日光市、大田原市、上三川町、栃木市、野木町） **未経験者歓迎！** 経験豊富な先輩職員が一歩ずつ成長をサポートしますので安心してください！

※本採用試験は、採用予定人数に達した場合、選考の状況により追加の採用を行わない場合があります。
その場合は、ご応募いただいてもご希望に添いかねる場合があります。予めご了承ください。

２　応募資格

18歳以上45歳以下（令和9(2027)年3月31日現在）で、次の①から③のいずれかに該当する者

① 学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は大学院で土木（農業土木を含む）、建築、電気、機械、化学、情報のいずれかに関する専門学科又はこれに相当する課程を履修し、卒業（修了）又は令和9(2027)年3月31日までに卒業（修了）見込みの者

② 学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は大学院を卒業（修了）した者（学科指定なし）で、土木、建築、電気、機械、化学、情報いずれかの分野の技術職員として従事した経験が3年以上※1の者
※1　基準日は申込日現在（1ヶ月未満は切捨て）です。転職により複数の勤務歴があるときは通算してください。

③ 学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は大学院を卒業（修了）した者（学科指定なし）で、当センターが指定する資格・免許を有する者又は試験合格者※2
※2　当センターが指定する資格・免許・試験合格者は次のとおり

土木系：土木施工管理技士（1級又は2級）、測量士、技術士（総合技術監理部門（建設部門関連科目に限る。）又は建設部門に限る。）、RCCM（技術士部門と同様の建設部門に限る。）、公共工事品質確保技術者、管工事施工管理技士（1級）
建築系：建築士（一級又は二級）、建築施工管理技士（1級）
電気系：電気工事施工管理技士（1級）、建築設備士
機械系：建築設備士、管工事施工管理技士（1級）
化学系：エネルギー管理士、環境計量士（濃度関係に限る。）
情報系：情報処理技術者試験（情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験及び初級システムアドミニストレータ試験を除く。）又は情報処理安全確保支援士試験の合格者

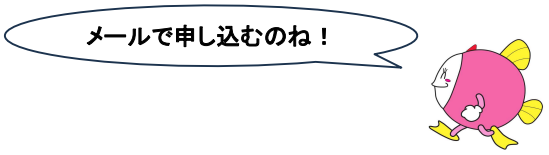
ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。
1 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
2 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3　応募方法

①センターホームページ（https://www.tochigictc.or.jp）より申込書・自己PR書（Excel）をダウンロードします。

②申込書・自己PR書に必要事項を記入し専用メールアドレス（saiyou@tochigictc.or.jp）あてメール送信してください。

問合せ先　☎028-626-3186・✉saiyou@tochigictc.or.jp（採用試験担当あて）



4　試験の種目、配点及び内容

種目	配点※3	場所	内容
書類審査※1			試験申込書に基づき、応募者の応募資格の有無や経歴を鑑み当センターで実施する業務への適性を審査します。
適性検査※2		WEB （受験者自身のパソコンやスマートフォンから受検）	業務遂行に必要な素質及び適性を有するかについて検査します。
面接試験	200点	とちぎ建設技術センター 宇都宮市竹林町1030-2 （栃木県河内庁舎別館）	主として人物について、個別面接による試験を行います。（1人25分程度） 希望者には面接試験後に法人説明会（約30分）を実施します。
資 格 調 査		応募資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査します。	

※1　審査結果については、非開示です。

※2　適性検査は、受験者自身のパソコンやスマートフォンから受検します。検査実施会社から送信されるメールに記載されたURL、ログインID及びパスワードを使用して、面接試験の2日前までに受検してください。
期限までに適性検査を受検しなかった場合は、採用試験受験を辞退したものとみなします。

※3　合否は、面接試験において当方で定める一定基準の得点で判定します。なお、基準及び得点は非開示です。

5　採用及び法人説明会プロセス　（　）内の日数は目安です。申込時期により前後することがあります。

(1) 申込者　「3 応募方法」により申込み

↓　（7営業日以内）

(2) センター　書類審査 → 審査不採用通知（メール）

試験日等に関する通知（メール）

↓　（7営業日以内）

(3) 申込者　適性検査・面接試験・業務説明会（希望者）

適性検査	30分程度（面接試験2日前までにWEB受検）
面接試験	25分程度
業務説明会（希望者）	30分程度

↓　（5営業日以内）

(4) センター　合否通知（メール）

↓　（センターが指定する日までに）

(5) 申込者　採用受諾書等提出（詳細は合格通知に記載）

↓

(6) 内定　内定通知（文書）

↓

(7) 採用　原則として令和9(2027)年4月1日（希望がある場合、応相談）



６ 採用条件

(1) 採用時期

採用日は、原則として令和９(2027)年４月１日（予定）です。
原則以外で希望があれば、応相談とします。

(2) 初任給（令和８(2026)年４月１日現在）

学歴	基本給（地域手当4%含む）
大学院卒	２５３，５５２円
大学卒	２４４，４００円
短大卒	２２８，１７６円
高専卒	２２８，１７６円
高校卒	２１４，９６８円

基本給は前歴により加算されます。



(3) 昇給

年１回（毎年４月）

(4) 賞与

年２回（６月、12月）
【参考】令和７年度実績：年間4.65ヶ月分　令和６年度実績：年間4.6ヶ月分

(5) 諸手当

通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当　など

(6) 退職手当

有り

(7) 福利厚生

健康診断（年齢要件により人間ドック、脳ドック可）、ストレスチェック、資格取得費の助成、インフルエンザ等予防接種費の助成、リフレッシュ助成、作業服等貸与　など

(8) 社会保険

健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

(9) 勤務時間

原則　8:30～17:15（内12:00～13:00は休憩）　実労働　日7時間45分
時差通勤制度有り

(10) 休日

土日（完全週休２日制）、祝日、年末年始（12/29～１/３）　年間休日 122日

(11) 休暇

年次有給休暇、特別休暇（夏季休暇、慶弔休暇、子の看護等休暇等）、傷病休暇、育児・介護に関する休業制度有り

(12) 職場情報

① 直近3年間における採用11名、新卒者（卒業後3年以内）の離職1名
② スキルアップ研修の実施　新入職員研修、職場体験研修など
③ 自己啓発支援制度　資格取得に係る助成、報奨金の支給
④ メンター制度　先輩職員による後輩職員のサポートを実施
⑤ 前年度の平均残業時間（月間） 4.04時間
⑥ 前年度の平均有給休暇取得日数（年間） 17.6日
⑦ 前年度の育児休業取得者数　対象者0人、実施者0人

7 （公財）とちぎ建設技術センターの概要

当センターは、地域社会の健全な発展を目指し、建設行政の支援及び建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図り、県内の良質な社会資本の整備や保全及び生活環境の保全に寄与することを目的に設立された団体です。

事業としては、県や県内市町・その他からの要請に基づき、または自主事業として次のような事業を行っています。

（1） 下水道施設に係る管理運営支援・調査研究及び普及啓発事業
（2） 下水道排水設備工事責任技術者に係る資格試験、更新講習及び登録等に関する事業
（3） 市町村が行う社会資本の整備や保全に関する技術的支援事業
（4） 公共工事に関する専門研修事業
（5） 建設関連企業定年退職者等の熟練技術者を活用した技術的支援事業
（6） 道路、河川、公園等の公共施設のボランティア等活動支援事業
（7） 建設事業に関する調査、検査、試験研究及び技術的支援事業
（8） 公共建設事業に関する資料の収集及び情報の提供並びに普及啓発事業
（9） 公共建設工事（公共建築工事を除く。）に関する測量、設計、積算、工事管理事業
（10） 公共建築工事に関する測量、積算、工事監理事業
（11） その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人とちぎ建設技術センター職員採用試験申込書

網掛けの欄は必ず記入してください。（必須項目）

職種	総合技術職	ふりがな 氏名	
生年月日		平成　年　月　日生　歳	
（ふりがな） 現住所		〒　－ 方（下宿等の場合は必ず記入してください。）	
メールアドレス （合格通知等の連絡手段で使用します。）		＠	
電話番号 ※携帯電話がある場合は携帯電話番号		－　－	

学歴
高校からの学歴を記入

学校名	学部学科名	在学期間	修学年限等
（最終学校）	学部	年　月から	年課程
	学科	年　月まで	
（その前の学校）	学部	年　月から	年課程
	学科	年　月まで	
（その前の学校）	学部	年　月から	年課程
	学科	年　月まで	

職歴
該当する場合のみ記入

勤務先（部署名まで）	所在地（市区町村まで）	在職期間 基準日：申込日（1か月未満切捨て）	主な担当業務
		年　月から 年　月まで	
		年　月から 年　月まで	
		年　月から 年　月まで	

資格・免許
職務に関連するもののみ記入

資格・免許名	取得年月	備考
	年　月取得	
	年　月取得	
	年　月取得	
	年　月取得	

誓約書

私は、この申込書に記載した内容が全て真実であり、虚偽の記載がないことを誓約します。

万が一、虚偽の記載が判明した場合には、採用選考の取消又は採用後においても解雇となることについて承諾します。

令和　年　月　日

□ 確認後☑してください

職務経験等記載欄

〇職務経験がある方　あなたの職務経験（どのような仕事をしてきたのか）を具体的に記載してください。
〇職務経験がない方　あなたの卒業した学校（高校、大学等）において、どのような勉強（専攻科目、課題研究等）をしてきたのか具体的に記載してください。
欄が不足する場合は適宜広げてください。

本人希望等記入欄

待遇等に対する疑問や希望がありましたら記入してください。

アンケート欄

あなたは、採用試験のことを何で知りましたか。該当するものに☑してください。

- ☐ 当センターホームページ
- ☐ 市町の技術系公務員採用情報サイト
- ☐ 就職情報サイト（サイト名　　）
- ☐ 求人広告
- ☐ 知人等からの情報提供
- ☐ その他（　　）

法人説明会

希望する場合、面接試験後に実施します。（所要時間30分）

- ☐ 希望する
- ☐ 希望しない

公益財団法人とちぎ建設技術センター職員採用試験申込書

網掛けの欄は必ず記入してください。（必須項目）

職種	総合技術職	ふりがな 氏名	けんせつ　せんた 建設　センタ
生年月日		平成 1 年 6 月 29 日 生	37 歳
（ふりがな） 現住所		とちぎけんうつのみやしたけばやしまち 〒 321 － 0974 栃木県宇都宮市竹林町1030－2 方（下宿等の場合は必ず記入してください。）	
メールアドレス （合格通知等の連絡手段で使用します。）		saiyou ＠ tochigictc.or.jp	
電話番号 ※携帯電話がある場合は携帯電話番号		090 － 1234 － 5678	

学歴
高校からの学歴を記入

学校名	学部学科名	在学期間	修学年限等
（最終学校） 建設大学	建設 学部 建設 学科	平成 20 年 4 月から 平成 24 年 3 月まで	4 年課程 卒業
（その前の学校） 建設高校	学部 電子 学科	平成 17 年 4 月から 平成 20 年 3 月まで	3 年課程 卒業
（その前の学校）	学部 学科	年 月から 年 月まで	年課程

職歴
該当する場合のみ記入

勤務先（部署名まで）	所在地（市区町村まで）	在職期間 基準日：申込日（1か月未満切捨て）	主な担当業務
建設技術株式会社 工事部	○○県○○市	平成 24 年 4 月から 令和 8 年 10 月まで	測量・工事現場監督等
		年 月から 年 月まで	
		年 月から 年 月まで	

資格・免許
職務に関連するもののみ記入

資格・免許名	取得年月	備考
1級土木施工管理技士	平成 29 年 10 月取得	
1級電気工事施工管理技士	令和 6 年 5 月取得	
普通自動車運転免許	平成 20 年 9 月取得	
	年 月取得	

誓約書

私は、この申込書に記載した内容が全て真実であり、虚偽の記載がないことを誓約します。
万が一、虚偽の記載が判明した場合には、採用選考の取消又は採用後においても解雇となることについて承諾します。

令和 8 年 ○ 月 ○ 日

☑ 確認後☑してください

職務経験等記載欄

○職務経験がある方　あなたの職務経験（どのような仕事をしてきたのか）を具体的に記載してください。
○職務経験がない方　あなたの卒業(予定)学校（高校、大学等）において、どのような勉強（専攻科目、課題研究等）をしてきたのか具体的に記載してください。
欄が不足する場合は適宜広げてください。

（例1）
私は、これまで道路や河川の維持管理業務に従事し、主に以下の内容に取り組んできました。
・道路設計補助　CADソフトを使用して道路図面を作成し、工事費の算出を行いました。
・河川改修工事の施工管理　洪水対策として河川堤防の補強工事に携わり、工程管理や品質管理を行いました。
・災害復旧支援　台風による災害発生後、現地調査を行い復旧計画を立案しました。
これらの経験を通じて、現場調整力と計画遂行力を身につけました。

（例2）
私は、これまで公共施設の電気設備の設計及び保守管理業務に従事しており、以下の業務を経験しました。
・照明設備の設計および更新工事　学校施設の老朽化した照明をLED化するプロジェクトで、設計と施工管理を担当しました。
・配電盤の点検及び改修　公共施設の配電盤の定期点検を行い、異常箇所の早期発見と修繕を実施しました。
・太陽光発電システムの設置計画　地域における再生可能エネルギーの利用を促進するため、太陽光発電設備の設置計画に携わりました。
これらの経験を通じて、省エネルギー意識の向上と安全性確保に努めました。

（例3）
私は、工業高校の土木科で土木技術の基礎知識と実践的な技術を学びました。特に、以下の科目に力を入れて取り組みました。
・測量　平板測量やトランシット測量を実習で経験し、地形図の作成や高さの測定を行いました。グループで協力し、正確な測量データを計測、取得する重要性を学びました。
・材料力学　コンクリートや鋼材の特性について学び、建設材料の選定が構造物の安全性にどう影響するか理解を深めました。
・設計製図　道路や橋梁の設計図をCADソフトで作成する技術を学びました。特に、構造物の配置や寸法の精度に注意して設計する力を身につけました。

（例4）
私は、大学の土木工学科で構造物の設計や施工、環境保全に関して基礎から応用まで幅広く学びました。特に以下の分野に注力しました。
・構造力学　構造物に働く荷重や応力を計算し、安全性の高い橋梁や建物を設計するための基礎理論を学びました。また、解析ソフトを用いて具体的な設計を行う演習に取り組みました。
・水理学　河川や水路内の流体の挙動を数値解析し、洪水対策や排水設計の理論を勉強しました。特に、水位上昇の影響をモデル化する実験を通じて、自然災害のリスク評価に興味を持ちました。
・地盤工学　地盤の強度特性を評価するため、土質試験や地盤改良の設計手法を学びました。実際の建設現場を想定したケーススタディでは、地盤沈下の影響を考慮した設計演習に取り組みました。

本人希望等記入欄

待遇等に対する疑問や希望がありましたら記入してください。

（例1）
貴センターに採用された場合の勤務条件について詳しく知りたい。

（例2）
異動や転勤はどのくらいの頻度であるのか。

アンケート欄

あなたは、採用試験のことを何で知りましたか。該当するものに☑してください。

- ☐ 当センターホームページ
- ☐ 市町の技術系公務員採用情報サイト
- ☑ 就職情報サイト（サイト名　Indeed　）
- ☐ 求人広告
- ☐ 知人等からの情報提供
- ☐ その他（　　）

法人説明会

希望する場合、面接試験後に実施します。（所要時間30分）

- ☑ 希望する
- ☐ 希望しない